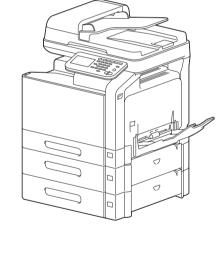
bizhub C35
インストレーションガイド

はじめにお読みください

プリンタ/コピー/スキャナユーザーズガイド、ファクスユーザーズガイド、リファレンスガイドはDocumentation CD-ROMに収録しています。

A121-9202-00

はじめに

弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。bizhub C35 は、Windows、Macintosh、Linux 環境でお使いいただくのに最適なプリンター複合機です。

登録商標および商標

Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。

Ethernet（イーサネット）は、富士ゼロックス株式会社の登録商標です。

Mac、Mac OS は、米国 Apple Inc. の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Windows、WindowsNT、Windows Server は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

KONICA MINOLTA および KONICA MINOLTA ロゴは、コニカミノルタホールディングス株式会社の商標および登録商標です。

PageScope、bizhub は、コニカミノルタビジネステクノロジー株式会社の登録商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

著作権について

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響ついて、コニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

ソフトウェア使用許諾契約書

本パッケージにはコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社（以下、「KMBT」）より提供される、プリンターシステムの一部を構成するソフトウェア（以下、「プリンティングソフトウェア」）、特殊な暗号化フォーマットにデジタルコード化された機械可読アウトラインデータ（以下、「フォントプログラム」）、その他プリンティングソフトウェアと連動しコンピューターシステム上で動作するソフトウェア（以下、「ホストソフトウェア」）、そして関連する説明資料（以下、「ドキュメンテーション」）が含まれています。

本契約において「本ソフトウェア」とはプリンティングソフトウェア、フォントプログラム、ホストソフトウェアの総称で、それらすべてのアップグレード版、修正版、追加版、複製物を含みます。

本ソフトウェアは以下の条件の下でお客様にご使用いただいております。

以下ご同意くださった場合に限り、本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを使用することのできる非独占的、譲渡不可のライセンスを KMBT により付与いたします。

1. お客様は、お客様の日常業務での使用目的に限り、本ソフトウェアおよび、それに伴うフォントプログラムを使用することができます。
2. 上記 1. に定義されているフォントプログラムのライセンスに加え、お客様は、フォントの重み、スタイル、文字・数字・シンボルのバージョンをプリンティングソフトウェアを使用するコンピューターにおいて再生表示することができます。
3. お客様はバックアップ用にホストソフトウェアをひとつ複製することができます。ただし、その複製物はいかなるコンピューターにおいてもインストールあるいは使用されないことを条件とします。ただし、プリンティングソフトウェアが実行されているプリンティングシステムと使用するときに限り、ホストソフトウェアを複数のコンピューターにインストールすることができます。
4. 本契約の元、お客様はライセンシーとしての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションに対する権利および所有権を第三者 (以下、譲受人) に譲渡することができます。ただし、お客様が当該譲受人に本ソフトウェアやドキュメンテーションおよびそれらの複製物のすべてを譲渡し、当該譲受人が本契約の諸条件について同意している場合に限ります。
5. お客様は本ソフトウェアやドキュメンテーションを変更、改作、翻訳したりすることはできません。
6. お客様は本ソフトウェアを改造、逆アセンブル、暗号解読、リバースエンジニアリング、逆コンパイルすることはできません。
7. 本ソフトウェア、ドキュメンテーション、およびそれらの複製物に対する権利および所有権その他の権利はすべて KMBT およびそのライセンサーに帰属します。
8. 商標は、商標の所有者名を明示し、容認された商標慣行に従って使用されるものとします。商標の使用は、本ソフトウェアによって生成された印刷出力の識別を目的とする場合に限られます。いかなる商標であっても、こうした使用によって当該の商標の所有権がお客様に付与されることはありません。
9. お客様は、ご自身が使用されない本ソフトウェアあるいはその複製物、または未使用の記憶媒体に収められた本ソフトウェアを貸与、リース、使用許諾、譲

渡することはできません。ただし、上述の、すべての本ソフトウェアおよびドキュメンテーションを永久的に譲渡する場合を除きます。

10. KMBT およびそのライセンサーは、損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、本ソフトウェアの使用に付随または関連して生ずる間接的、懲罰的あるいは実害、利益損失、財産損失についていかなる場合においても、また第三者からのいかなるクレームに対しても一切の責任を負いません。KMBT およびそのライセンサーは、本ソフトウェアの使用に関して、明示であるか黙示であるかを問わず、商品性または特定の用途への適合性、所有権、第 3 者の権利を侵害しないことへの保証を含むがこれに限定されず、すべての保証を否認します。ある国や司法機関、行政によっては付随的、間接的、あるいは実害の例外あるいは限定が認められず、お客様に上記の制限はあてはまらない場合もあります。
11. Notice to Government End Users（本規定に関して：本規定は米国政府機関のエンドユーザー以外の方には適用されません。）The Software is a “commercial item,” as that term is defined at 48 C.F.R.2.101, consisting of “commercial computer software” and “commercial computer software documentation,” as such terms are used in 48 C.F.R. 12.212. Consistent with 48 C.F.R. 12.212 and 48 C.F.R. 227.7202-1 through 227.7202-4, all U.S. Government End Users acquire the Software with only those rights set forth herein.
12. 本ソフトウェアをいかなる国においても輸出管理に関連した法規制に違反した形で輸出することはできません。

安全にお使いいただくために

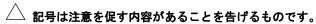
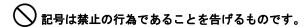
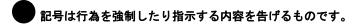
製品を安全にお使いいただくために、必ず以下の「取扱上の注意」をよくお読みになってください。また、この説明書の内容を十分理解してから、本機の電源を入れるようにしてください。

■ このインストレーションガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。

絵記号の意味

このインストレーションガイドおよび製品への表示では、製品をただしくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

図の中に具体的な注意内容（左図の場合は高温注意）が描かれています。

図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。

⚠警告

	● 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 ● 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	● 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。 ● この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。 ● 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。
	● 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。 ● タコ足配線をしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災、感電のおそれがあります。 ● 原則的に延長コードは使用しないで下さい。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご相談ください。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の恐れがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

	必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。 ● アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。 ● アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。 アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。 ● コンセントのアース端子 ● 接地工事を施してある接地端子（第 D 種） 次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。 ● ガス管（ガス爆発の原因になります） ● 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります） ● 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。
	● 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。 ● 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。
	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠注意

🚫	● 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないで下さい。火災・感電の原因となることがあります。 ● 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。
❗	● 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。インストレーションガイドで固定脚を使用するよう指示がある製品については、固定脚で本体を固定してください。動いたり、倒れたりして怪我の原因になることがあります。
⚠	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。
🚫	● 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。 ● 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。
🚫	● トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。 ● トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。
🚫	● プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ● 電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

	本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
	● 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。 ● 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。 ● 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

換気について

換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量の印刷を行うと、オゾンなどの臭気が気になり、快適なオフィス・家庭環境が保てない原因となります。また、印刷動作中には、化学物質の放散がありますので、換気や通風を十分行うように心掛けてください。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.117「複写機 Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しております純正品を使用し、複写を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122:2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

2 次電池（充電式リチウム電池）について

本機では、2 次電池は一切使用しておりません。

印刷されたものの保存について

- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- 印刷されたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。
- 通常の白黒印刷に比べてトナーの層が厚いため、強く折り曲げると折り曲げたところでトナーが剥がれることがあります。

複製禁止事項

法律で禁止されている紙幣などの複製を防止するため本機には、偽造防止機能を搭載しています。
本機は偽造防止機能を搭載しているため、画像に若干のノイズが入ったり、画像データの保存が禁止されたりすることがあります。

もくじ

お使いになる前に

1

お使いになる前に

ご注意

本機は約 39 kg あります（消耗品を含む）。本機を持ち上げて移動するときは、必ず 2 人以上で行ってください。

内容物の確認

内容物がすべて揃っていることを確認してください。

1 本機（トナーカートリッジ、イメージングユニット、廃トナーボトルが装着済み）

2 電源ケーブル

3 Drivers CD-ROM（プリンター / ファクスドライバー、スキャナードライバー）

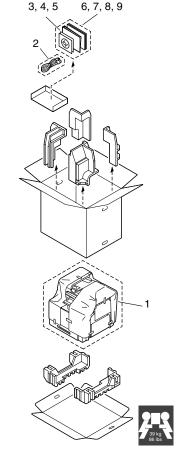
4 Applications CD-ROM（ユーザツール、設定・管理ツール、運用ツール）

5 Documentation CD-ROM（インストレーションガイド、プリンタ／コピー／スキャナユーザーズガイド、ファクスユーザーズガイド、リファレンスガイド、クイックガイド）

6 クイックガイド

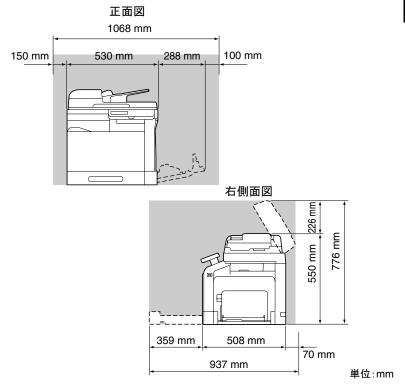
7 セーフティインフォメーションガイド

8 インストレーションガイド（本書）

9 電話機コード（6 極 2 芯：3 m）

コンピューターとの接続ケーブル（ネットワークケーブル、USB ケーブル）は含まれていません。販売店またはコンピューターショップにてお買い求めください。

Documentation CD-ROM に収録されている PDF マニュアルについて詳しくは、「マニュアル」（p.74）をごらんください。

設置スペース

操作、消耗品の交換、点検などの作業を容易にするため、下図の設置スペースを確保してください。

設置場所

■ 本機（消耗品、用紙を含む）の重量に耐えられる場所に設置してください。

構成	質量
本体のみ	約 34.6kg
消耗品（トナーカートリッジなど）を含む本体	約 39 kg

次のような場所に設置してください。

- ■ 表面が固く、平らで、安定して、水平な（本体周辺がすべて 1° 以下の傾きの）場所。

設置場所が水平かどうかは、普通の丸い鉛筆で確認できます。
鉛筆が転がれば、その場所は水平ではないということです。ケーブルなどの障害物が本機の下にはさまらないように注意し、本機が水平になるようにしてください。

- ■ アース接地されている専用のコンセントに近い場所。
- ■ お使いのコンピューターに近い場所。
- ■ 使いやすさと適度な換気のため、十分に広い場所。
- ■ 周囲の温度が 10 °C ～ 30 °C、湿度が 15% ～ 85% の場所。

次のような場所には設置しないでください。

- ■ 直射日光の当たる場所。
- ■ 暖房機や冷房機が近くにあり、温度差、湿度の差が激しい場所。
- ■ 風の吹く場所やほこりの多い場所。
- ■ 直火のある場所や燃えやすい場所。
- ■ コピー機やエアコンなどノイズが発生する機器や、冷蔵庫など強い磁力や電磁力の発生する機器に近い場所。
- ■ 水、水道管、液体（飲物）の入った容器類、腐食性薬品や腐食性ガス（アンモニアなど）に近い場所。
- ■ クリップやホッチキスの針などの細かい金属物が散らばっている場所。
- ■ 激しい振動が起こる場所。

高電流の機器と同じコンセントに接続しないでください。

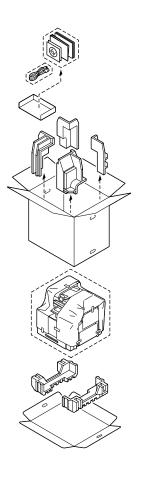
温度差の激しい環境に本機を設置または移動した場合、本機内部で結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。結露が起こった場合は、使用する前に約 1 時間置いてその環境に適応させてください。

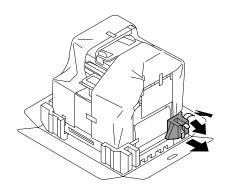
本機が設置してある部屋で、加湿器や蒸発機を利用する場合は、精製した水または蒸留水を使用してください。水の中の不純物が空気中に放出されると、本機内部に溜まり、印刷品質低下の原因になります。

本機の設置

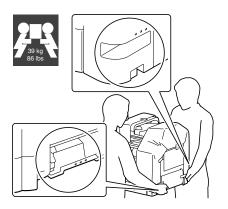
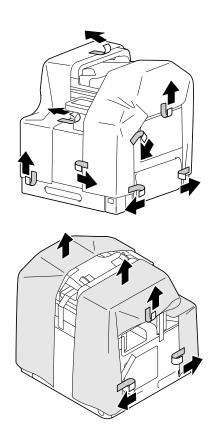
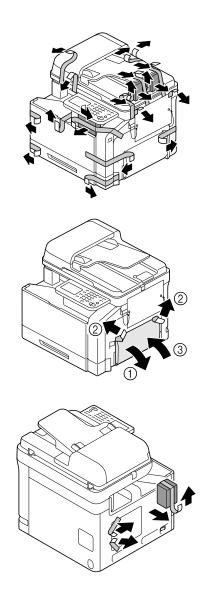
本機を移動または発送するときのために、梱包材や保護材は保管しておくことをお薦めします。

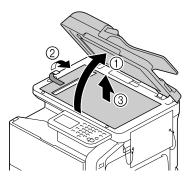
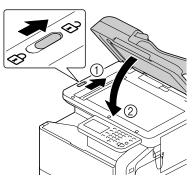
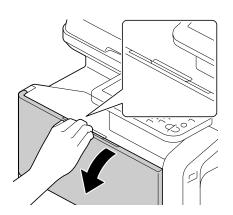
1 梱包箱の上フタを開いて、電源ケーブル、CD-ROM、ガイド、保護材などの内容物を取り出します。

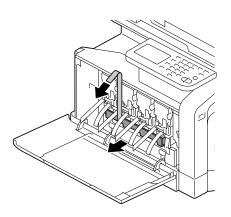
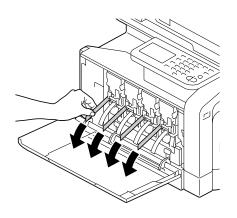
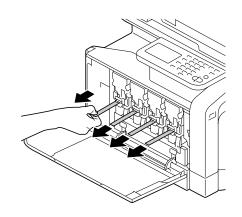
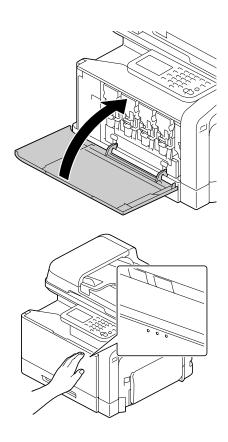
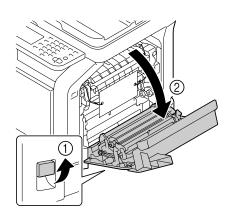
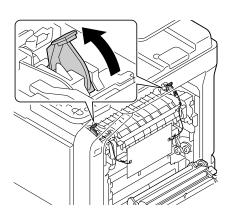
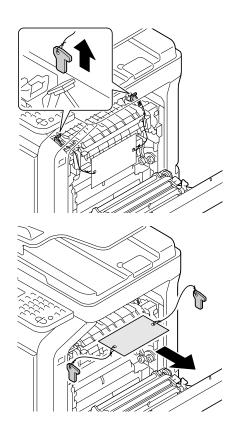
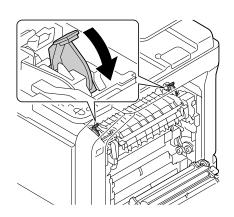
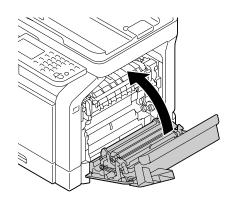
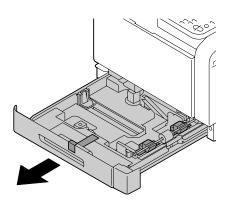
梱包箱を上へ引き上げて取り外します。

2 保護材を止めているテープを図のように取り外し、保護材を取り外します。

ビニールの保護カバーを本機から取り外します。

3 図に示す位置に手をかけ、2人以上で本機を箱から持ち上げ、水平で頑丈な場所に置きます。

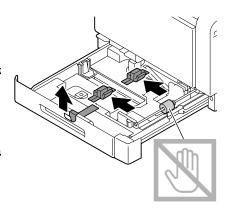
ご注意

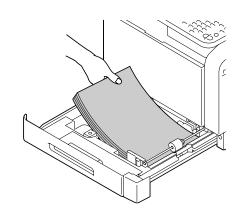
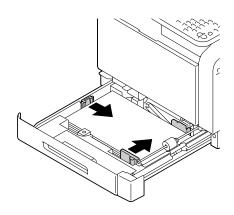
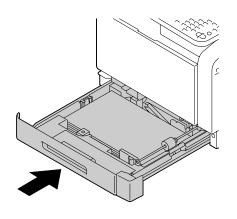
必ず正しい位置に手をかけて本機を持ち上げてください。
指定位置以外を持ち上げた場合、本機の損傷や落下の危険があります。

4 保護シートを止めている
テープを取り外し、保護
シートを取り外します。

5 本機の外装部を固定している保護テープと保護材をすべて取り外します。

6 自動原稿送り装置（ADF）を開いて、保護テープと保護材を取り外します。

7 スキャナーロックレバーを ヘスライドさせ、ADFを閉じます。

8 前ドアを開きます。

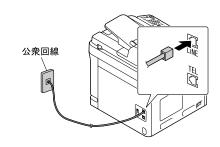
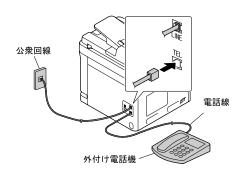
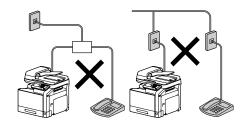
9 保護材を止めているテープ（1 箇所）を取り外し、保護材を取り外します。

10 各色のトナーカートリッジの保護フィルムを外します。

11 各色のイメージングユニットの保護フィルムを外します。

12 前ドアを閉じます。

13 レバーを引き（①）、右ドアを開きます（②）。

14 定着カバーのレバー（2 箇所）を押し上げます。

15 保護材を取り外します。

16 定着カバーのレバーを下げます。

17 右ドアを閉じます。

18 トレイ 2 を引き出します。

19 保護テープと保護材を取り外します。

ご注意

給紙ローラーの表面には手を触れないようご注意ください。もし手で触れてしまった場合は、乾いた布でローラーの表面の汚れを拭きとってください。

20 印刷したい面を上向きにして用紙をセットします。

用紙のセットについて詳しくは、「プリンタ / コピー / スキャナユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

21 用紙のサイズに用紙ガイドを合わせます。

22 トレイ 2 を閉じます。

電話回線の接続

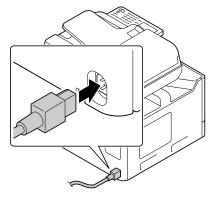
本機に電話回線を接続します。

1 電話回線を本機の背面の回線コネクター（LINE）に接続します。
ファクスで送信、受信するための設定については、「G3ファクスの初期設定」（p.30）をごらんください。

電話機を本機に接続して使用する場合、電話機は本機の背面の外付け電話機接続用コネクター（TEL）に接続します。

右図のように、ブランチ接続（並列接続）はしないでください。
ブランチ接続した場合、ファクスの送受信、電話の着信、電話の各サービスなどが、正常に動作できない場合があります。

電源の投入

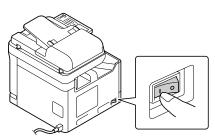
⚠ ご注意

本機のオプション（給紙ユニット（トレイ 3/4））をご購入いただいた場合は必ず、本機の電源を入れる前に装着してください。装着方法については「プリンタ / コピー / スキャナユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

1 本機の電源がオフになっていることを確認します。

2 電源ケーブルを本機に接続します。

3 電源ケーブルをコンセントに接続します。

4 本機の電源をオンにします。

ウォームアップが始まります。

5 画面の指示にしたがって本機の初期設定を行います。

- ファクス仕向：日本
- 日付
- 時刻
- タイムゾーン
- 言語選択：日本語

G3 ファクスの初期設定

ファクスで送信、受信するための設定を行います。

ファクス送信、受信のしかた、各機能設定について詳しくは、「ファクスユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

設定画面を表示する

1 操作パネルの［設定メニュー / カウンター］キーを押します。

2 ［管理者設定］を押します。

3 管理者パスワード（初期値：12345678）を入力し、［OK］を押します。

4 ［ファクス設定］を押します。

ファクス設定画面が表示されます。

発信元の設定

設定した発信元名やファクス番号が送信先の文書のヘッダに印刷されます。

1 ［ファクス設定］画面から［発信元設定］を押します。

2 ［発信元］を押します。

3 ［発信元］を押して、発信元名を入力し（30 バイト以内）、［OK］を押します。

4 ［OK］を押します。

5 ［発信元設定］画面から［ファクス ID］を押します。

6 ［番号］を押して、ファクス番号を入力し（半角数字、+、スペースで 20 桁以内）、［OK］を押します。

7 ［OK］－［閉じる］を押します。

引き続き、「ダイヤル方式の設定」を行います。

ダイヤル方式の設定

ご使用の通信環境に合わせてダイアル方式を設定します。

1 ［ファクス設定］画面から［通信設定］－［ダイヤル方式］を押します。

2 ［PB］、［10pps］または［20pps］を選択し、［OK］を押します。

［PB］、［10pps］または［20pps］は回線に合わせて選択してください。
［PB］:「ピッポッパッ」という音がする回線の場合に選択してください。
［10pps］、［20pps］: ダイヤル回線の場合に選択してください。

［10pps］または［20pps］の選択は、電話利用時の契約内容を確認してください。

3 ［閉じる］を押します。

引き続き、「構内交換機（PBX）接続の設定」を行います。

構内交換機（PBX）接続の設定

本機を構内交換機（PBX）に接続して使用するかどうかを設定します。

1 ［ファクス設定］画面から［PBX 接続設定］を押します。

2 ［PBX 使用設定］を押します。

3 ［する］または [しない] を選択し、[OK] を押します。

［しない] を選択した場合は、手順 7 へ進みます。

［する］または［しない］は、ご利用の環境に合わせて選択してください。
［する］：ご利用の環境に電話交換機などがあり、内線電話システムなどを用いている場合に選択してください。
［しない］：ご利用の環境に電話交換機などがない場合に選択してください。

4 ［PBX 接続設定］画面から［外線番号] を押します。

5 ［番号］を押して、外線発信番号を入力し、［OK］を押します。

6 ［OK］を押します。

7 ［設定メニュー / カウンター］キーを押して、ホーム画面に戻ります。

G3 ファクスの初期設定は終了しました。

CD-ROM の起動

1 コンピューターの電源をオンにして、Windows を起動します。

2 CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、トップメニュー画面が表示されます。

Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008 の場合、CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので［AutoRun.exe の実行］をクリックしてください。

インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の中の［AutoRun.exe］をダブルクリックしてください。

インストールプログラムで使用するボタンは次のとおりです。

［CD-ROM 参照］: CD-ROM の内容を参照します。

［戻る］: 前の画面に戻ります。

［トップメニューへ］: トップメニュー画面に戻ります。

［終了］: インストールプログラムを終了します。

3 トップメニュー画面からお好みの項目を選択します。

各メニューの内容は、「CD-ROM の構成」（p.35）をごらんください。

CD-ROM の構成

Drivers CD-ROM

CD-ROM 構成の項目	説明
プリンター／ファクス	プリンタードライバーおよびファクスドライバーをインストールできます。詳しくは「ドライバーのインストール」（p.48）をごらんください。
スキャナー	スキャナードライバーをインストールできます。詳しくは「ドライバーのインストール」（p.48）をごらんください。

Applications CD-ROM

CD-ROM 構成の項目	説明
ユーザツール	Print Status Notifier、PageScope Direct Print をインストールできます。詳しくは各アプリケーションの Readme、PDF マニュアルをごらんください。
設定・管理ツール	PageScope Data Administrator、PageScope Net Care Device Manager（PageScope Enterprise Suite Plug-in）、Driver Packaging Utility をインストールできます。詳しくは各アプリケーションの Readme、PDF マニュアルをごらんください。
運用ツール	Download Manager をインストールできます。機能や使いかたについて詳しくは、Download Manager のオンラインヘルプをごらんください。

Documentation CD-ROM

CD-ROM 構成の項目	説明
インストレーションガイド（本書）	本機の設置やドライバーのインストールなど、本機を使用する際に最初に必要な事項を説明しています。
プリンタ／コピー／スキャナユーザーズガイド	ドライバーの使いかたや消耗品の交換、操作パネルの使いかたなど、日常の使いかた全般について説明しています。
ファクスユーザーズガイド	ファクスの送受信方法、操作パネルの使いかたなど、ファクス機能全般について説明しています。
リファレンスガイド	Macintosh/Linux ドライバーのインストール、ネットワークの設定など、より詳細な設定について説明しています。
クイックガイド	プリンター、コピー、ファクス、スキャナーの使用手順や、消耗品の交換方法が確認できる簡易マニュアルです。

必要なシステム

必要なシステム

- コンピューター：
  - Pentium 3：400 MHz 以上の CPU を搭載した IBM PC/AT 互換機（Windows Vista：1 GHz 以上）
  - PowerPC G3 以降（G4 以降を推奨）を搭載した Macintosh
  - Intel プロセッサを搭載した Macintosh
- オペレーティングシステム：
  - 32bit
    Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise, Windows XP Home Edition/Professional（Service Pack 2 以降）, Windows Server 2003, Windows 2000（Service Pack 4 以降）
  - 64bit
    Windows 7 Home Premium/Professional/Ultimate/Enterprise x64 Edition, Windows Vista Home Basic/Home Premium/Ultimate/Business/Enterprise x64 Edition, Windows Server 2008 R2 Standard/Enterprise, Windows Server 2008 Standard/Enterprise x64 Edition, Windows XP Professional x64 Edition, Windows Server 2003 x64 Edition

64bit ドライバーは、AMD64 プロセッサまたは、EM64T 搭載の Intel プロセッサが稼動する x64 オペレーティングシステムに対応しています。

  - Mac OS X および X Server（10.2.8/10.3/10.4/10.5/10.6；最新のパッチの適用を推奨）
  - Red Hat Enterprise Linux 5 Desktop, SUSE Linux Enterprise Desktop 10

Macintosh および Linux のプリンタードライバーについては、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

- 空きハードディスク容量：
  - 256 MB 以上
- メモリー：
  512 MB 以上（ただし OS が推奨する以上の RAM）
- CD/DVD-ROM ドライブ
- インターフェース：
  - 10Base-T/100Base-TX/1000Base-T イーサネット（Ethernet）インターフェースポート
  - USB 2.0（High Speed）準拠インターフェースポート

ネットワーク接続の場合の準備

本機をネットワークに接続してお使いになる場合、本機に IP アドレスが割り当てられている必要があります。2 種類の方法のいずれかで設定を行います。詳しくは「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

■ DHCP を使用する

■ アドレスを手動設定する

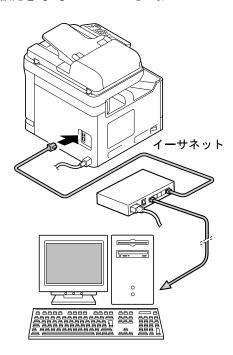
DHCP を使用する場合

お使いのネットワークで DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）を使用している場合は、本機の電源をオンにすると、DHCP サーバーによって本機の IP アドレスが自動的に割り当てられます。

本機の IP アドレスが自動的に設定されない場合は、本機の設定で DHCP が使用可能になっているかを確認してください。（[設定メニュー / カウンター] キー − [管理者設定] − [イーサネット] − [TCP/IP] − [DHCP] で設定を [ON] にしてください。）

1 本機をネットワークに接続します。

10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ケーブルのコネクター（RJ45）を、本機のイーサネットインターフェースポートに差し込んで、本機をネットワークに接続します。

第 2 章

2 コンピューターと本機の電源をオンにします。

アドレスを手動設定する場合

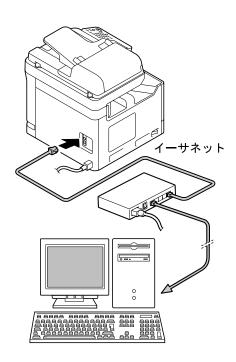
以下の方法で、本機の IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを手動で設定変更することができます。

手動で IP アドレスを設定する場合は、［設定メニュー / カウンター］キーー［管理者設定］ー［イーサネット］ー［TCP/IP］ー［DHCP］、［BOOTP］、［ARP/PING］で設定を［OFF］にしてください。

ご注意

本機の IP アドレスを変更する場合は、必ずネットワーク管理者に連絡してください。

1 本機をネットワークに接続します。

10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ケーブルのコネクター（RJ45）を、本機のイーサネットインターフェースポートに差し込んで、本機をネットワークに接続します。

2 コンピューターと本機の電源をオンにします。

3 IP アドレスの設定を行います。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ホーム画面
［設定メニュー / カウンター］キー	［設定メニュー］（001/002）
［↓］	［設定メニュー］（002/002）
［管理者設定］	管理者パスワード入力画面
［テンキー］	********
管理者パスワードの初期値は［12345678］です。	
［OK］	［管理者設定］（001/005）
［↓］	［管理者設定］（002/005）
［イーサネット］	［イーサネット］（001/002）
［TCP/IP］	［TCP/IP］（001/006）
［有効］	［有効］
［する］	［有効］
［OK］	［TCP/IP］（001/006）
［IP アドレス］	［IP アドレス］
［宛先］	IP アドレス入力画面
IP アドレスの入力はテンキーを使用してください。 ［>］、［<］を押して 1 ～ 3 桁の数値 4 つの間を移動させます。 ［.001］のような入力はできません。［.1］として［>］、［<］で移動させます。 ［削除］は数値の削除に使用します。IP アドレスの入力をキャンセルするには、［中止］を押してください。	
［OK］	［IP アドレス］
［OK］	［TCP/IP］（001/006）

4 サブネットマスクとゲートウェイを設定しない場合は、手順6にすすんでください。

サブネットマスクを設定せずにゲートウェイを設定する場合は、手順5にすすんでください。

サブネットマスクを設定する場合は、以下の操作を行います。

<table>
<tr><th>押すキー</th><th>ディスプレイ（このように表示されるまで）</th></tr>
<tr><td>[サブネットマスク]</td><td>[サブネットマスク]</td></tr>
<tr><td>[宛先]</td><td>サブネットマスク入力画面</td></tr>
<tr><td colspan="2">サブネットマスクの入力はテンキーを使用してください。
[>]、[<] を押して1～3桁の数値4つの間を移動させます。
[.001] のような入力はできません。[.1] として [>]、[<] で移動させます。
[削除] は数値の削除に使用します。サブネットマスクの入力をキャンセルするには、[中止] を押してください。</td></tr>
<tr><td>[OK]</td><td>[サブネットマスク]</td></tr>
<tr><td>[OK]</td><td>[TCP/IP]（001/006）</td></tr>
</table>

5 ゲートウェイを設定しない場合は、手順6にすすんでください。

ゲートウェイを設定する場合は、以下の操作を行います。

<table>
<tr><th>押すキー</th><th>ディスプレイ（このように表示されるまで）</th></tr>
<tr><td>[ゲートウェイ]</td><td>[ゲートウェイ]</td></tr>
<tr><td>[宛先]</td><td>ゲートウェイ入力画面</td></tr>
<tr><td colspan="2">ゲートウェイの入力はテンキーを使用してください。
[>]、[<] を押して1～3桁の数値4つの間を移動させます。
[.001] のような入力はできません。[.1] として [>]、[<] で移動させます。
[削除] は数値の削除に使用します。ゲートウェイの入力をキャンセルするには、[中止] を押してください。</td></tr>
<tr><td>[OK]</td><td>[ゲートウェイ]</td></tr>
<tr><td>[OK]</td><td>[TCP/IP]（001/006）</td></tr>
</table>

6 設定変更を保存します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
[閉じる]	[設定メニュー] が表示されるまで [閉じる] を押します。
	ホーム画面

7 設定リストページを印刷し、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが正しく設定されているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ホーム画面
[設定メニュー / カウンター] キー	[設定メニュー]（001/002）
[ユーザー設定]	[ユーザー設定]
[プリンター設定]	[プリンター設定]
[レポート出力]	[レポート出力]
[設定情報リスト]	[設定情報リスト]
[印刷]	[設定情報リスト]
[OK]	[レポート出力]

USB 接続の場合の準備（Windows Server 2008 R2/7）

Windows Server 2008 R2/7 をご使用の場合は、プリンタードライバーをインストールする前に、以下の手順にしたがってコンピューターの設定を変更してください。

1 コンピューターの電源をオンにして、Windows を起動します。

2 [スタート] メニューから［コントロールパネル］－［システムとセキュリティ］－［システム］－［システムの詳細設定］をクリックし、システムのプロパティ画面を表示します。

3 ［ハードウェア］タブの［デバイスのインストール設定］ボタンをクリックします。

4 ［いいえ、実行方法を選択します］を選択します。

5 ［Windows Update からドライバーソフトウェアをインストールしない］を選択し、[変更の保存] ボタンをクリックします。

プリンタードライバーのインストールが完了したら、［はい、自動的に実行します（推奨）］に設定を変更してください。

6 [OK] ボタンをクリックして、システムのプロパティ画面を閉じます。

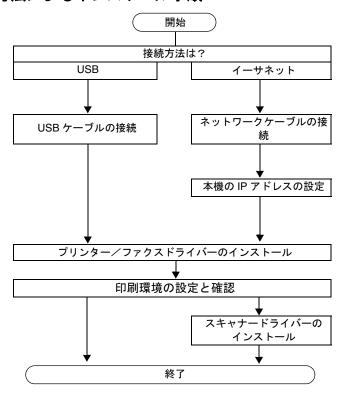
ドライバーのインストール

3

ドライバーのインストール

ドライバーをインストールするには、コンピューターの管理者権限が必要です。

Windows Server 2008 R2/7/Server 2008/Vista を使用時に［ユーザーアカウント制御］に関する画面が表示されるときは、［続行］または［はい］をクリックします。

接続方法によるインストール手順

■ 上図は、初めてドライバーをインストールする場合の手順を示しています。

「印刷環境の設定と確認」は Drivers CD-ROM のインストールプログラムからインストールした場合のみ表示されます。

お使いの OS、接続方法 にあわせて、プリンター / ファクス、スキャナードライバーをインストールします。ここでは、Windows をお使いの場合の操作を説明します。Macintosh をお使いの場合は、「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

スキャナードライバーのインストールはネットワーク接続でのみ行えます。

1 コンピューターの電源をオンにして、Windows を起動します。

2 Drivers CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。インストールプログラムが自動的に起動し、メインメニュー画面が表示されます。

Windows Server 2008 R2/7/Server 2008/Vista の場合、CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので［AutoRun.exe の実行］をクリックしてください。

インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の中の［AutoRun.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

3 トップメニュー画面からインストールしたいドライバーを選択します。

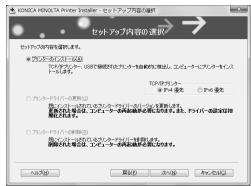
プリンター／ファクスドライバーのインストール	p. 50 へ
スキャナードライバーのインストール	p. 57 へ

プリンター／ファクスドライバーのインストール

1 ［インストーラーライセンス契約］画面が表示されますので、内容をお読みください。［同意します］ボタンをクリックします。

［同意しません］を選択した場合、トップメニュー画面に戻ります。

2 ［お読みください］画面が表示されますので、内容を確認して［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［プリンターのインストール］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

Windows Server 2008 R2/7/Server 2008/Vista をお使いの場合は、［IPv4 優先］もしくは［IPv6 優先］を選択することができます。本機に IPv4 と IPv6 の両方を設定している場合、［IPv4 優先］を選択してください。

4 接続方法によるインストール手順に進みます。

ネットワーク接続	p. 51 へ
USB 接続	p. 54 へ

ネットワーク接続

ネットワークに接続してお使いになる場合、あらかじめ、10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ケーブルをイーサネットインターフェースポートに接続し、本機に IP アドレスが割り当てられている必要があります。詳しくは「ネットワーク接続の場合の準備」(p.39) をごらんください。

1 デバイスが検出され、デバイスリストに表示されます。インストールしたいデバイスを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

■ ［全てクリア］ボタンをクリックするとリストに表示されているデバイスの選択（チェックマーク）をすべて消去します。

■ ［リスト更新］ボタンをクリックすると、検索されたデバイスの情報が最新のものに更新されます。

■ ［検索条件設定］ボタンをクリックすると、下記画面が表示され、IP アドレス、サブネットマスクからデバイスの検索が行えます。

検索条件指定
他のサブネットでプリンター/複合機を検索します。検索するネットワークを指定してください。
IPアドレス/サブネット (ex.192.168.1.0):
サブネットマスク (ex.255.255.255.0):
ヘルプ(H) 検索(S) キャンセル(C)

2 インストールするコンポーネントを選択し、［次へ］をクリックします。

ファクスドライバーをインストールするためには、［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］を選択します。

［KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS］は、Windows Server 2008 R2/7/Server 2008/Vista をお使いの場合のみ表示されます。

3 インストールする内容を確認し、［インストール］ボタンをクリックします。

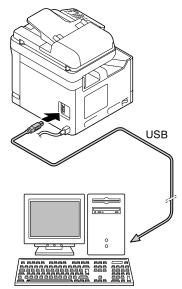
4 インストールが完了しました。［完了］ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。

［インストールの完了］画面では各種設定を行うことができます。詳しくは「印刷環境の設定と確認」（p.60）をごらんください。

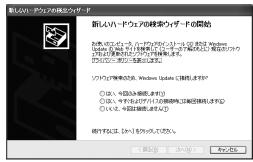
全てのインストール作業を終了する場合は［終了］ボタンをクリックしてプログラムを終了してください。Drivers CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

第3章

USB 接続

1 本機とコンピューターを USB ケーブルで接続します。USB ケーブルの一方をコンピューターの USB ポートに、もう一方を本機の USB ポートに接続します。

2 本機を接続する OS にあわせて準備を進めます。

- Windows Server 2008 R2/7 の場合
  手順 3 へ進みます。
- Windows Vista/Server 2008 の場合
  ［新しいハードウェアが見つかりました］画面が表示されますので、［キャンセル］をクリックします。

- Windows XP/Server 2003/2000 の場合
  ［新しいハードウェアの検出ウィザード］画面が表示されますので、［キャンセル］をクリックします。

3 デバイスが検出され、デバイスリストに表示されます。インストールしたいデバイスを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

- ［全てクリア］ボタンをクリックすると、リストに表示されているデバイスの選択（チェックマーク）をすべて消去します。
- ［リスト更新］ボタンをクリックすると、検索されたデバイスの情報が最新のものに更新されます。

4 インストールするコンポーネントを選択し、［次へ］をクリックします。

ファクスドライバーをインストールするためには、［KONICA MINOLTA bizhub C35 FAX］を選択します。

［KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS］は、Windows Server 2008 R2/7/Server 2008/Vista をお使いの場合のみ表示されます。

5 インストールする内容を確認し、［インストール］ボタンをクリックします。

6 インストールが完了しました。[完了] ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。

[インストールの完了] 画面では各種設定を行うことができます。詳しくは「印刷環境の設定と確認」(p.60) をごらんください。

全てのインストール作業を終了する場合は [終了] ボタンをクリックしてプログラムを終了してください。Drivers CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

スキャナードライバーのインストール

スキャナードライバーのインストールはネットワーク接続でのみ行えます。

あらかじめ、10Base-T/100Base-TX/1000Base-T ケーブルをイーサネットインターフェースポートに接続し、本機に IP アドレスが割り当てられている必要があります。詳しくは「ネットワーク接続の場合の準備」(p.39) をごらんください。

1 [次へ] をクリックします。

2 ［ソフトウェア使用許諾契約書］画面が表示されますので、［使用許諾契約の全条項に同意します］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［接続中のデバイスから IP アドレスを選択］リストから本機を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

本機がリストに検出されない場合は、［更新］ボタンをクリックしてください。または、［IP アドレスを指定］をチェックし、［IP アドレス］ボックスに本機の IP アドレスを入力してください。

4 インストールが完了しました。［完了］ボタンをクリックするとインストーラーが終了します。

全てのインストール作業を終了する場合は［終了］ボタンをクリックしてプログラムを終了してください。Drivers CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

第
3
章

印刷環境の設定と確認

プリンター / ファクスドライバーの［インストールの完了］画面では、印刷環境の設定と確認を行うことができます。

1 ［インストールの完了］画面が表示されたら、必要に応じて各ボタンをクリックします。

■ ［内容確認］

インストールしたドライバーを確認することができます。

■ ［通常使うプリンターの設定］

表示されているプリンターを通常使うプリンターに設定する場合に選択します。

■ ［プリンター名の変更］

プリンター名を変更することができます。

■ ［プリンタープロパティ］

オプションの設定を行うことができます。

■ ［印刷設定］

ドライバーの印刷設定を変更することができます。

■ ［テストページ印刷］

テストページの印刷を行います。

2 ［完了］ボタンをクリックします。インストーラーが終了します。

全てのインストール作業を終了する場合は［終了］ボタンをクリックしてプログラムを終了してください。Drivers CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

4

アプリケーションのインストール（Windows）

アプリケーションのインストール（Windows）

 アプリケーションをインストールするには、管理者権限が必要です。

 インストールする前にすべてのアプリケーションを終了してください。

ここでは以下のアプリケーションのインストール方法について説明します。

ユーザツール

- Print Status Notifier
- PageScope Direct Print

設定・管理ツール

- PageScope Data Administrator
- PageScope Net Care Device Manager（PageScope Enterprise Suite Plug-in）
- Driver Packaging Utility

運用ツール

- Download Manager

1 Applications CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、トップメニュー画面が表示されます。

 Windows Server 2008 R2/7/Server 2008/Vista の場合、CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので［AutoRun.exe の実行］をクリックしてください。

 インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の中の［AutoRun.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

2 トップメニュー画面から［ユーザツール］、［設定・管理ツール］、［運用ツール］のいずれかをクリックします。

第4章

3 各ツール画面から、インストールしたいアプリケーションを選択します。

4 ［インストール］をクリックします。

5 選択したアプリケーションのインストーラーが起動します。画面の指示に従ってインストールを完了させます。

6 ［終了］ボタンをクリックします。インストールプログラムが終了します。

Applications CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブから取り出し大切に保管してください。

PageScope Net Care Device Manager をインストールする場合は、あらかじめ基本モジュール（Microsoft .NET Framework 2.0、Microsoft .NET Framework の言語パッケージ、Microsoft SQL Server 2005 Express Edition）、PageScope Enterprinse Suite Plug-in をインストールする必要があります。基本モジュールについては、Applications CD-ROM よりインターネット経由でダウンロードすることができます。

各言語（英語を含む）のドライバーについて

各言語（英語を含む）のドライバーについて

プリンター / ファクスドライバー

各言語（英語を含む）のプリンター / ファクスドライバーは、以下のフォルダへ収録されています。

Windows XP/Server 2003/2000 をお使いの場合

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x86¥FAX¥（言語名）
¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x86¥PS¥（言語名）
¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x86¥PCL¥（言語名）

Windows 7/Vista/Sever 2008 をお使いの場合

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x86¥FAX¥（言語名）

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x86¥PS¥（言語名）

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x86¥PCL¥（言語名）

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x86¥XPS¥（言語名）

Windows XP x64 Edition/Server 2003 x64 Edition をお使いの場合

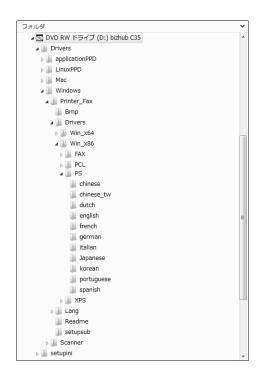
¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x64\FAX¥（言語名）
¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x64¥PS¥（言語名）
¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x64¥PCL¥（言語名）

Windows Server 2008 R2/7 x64 Edition/Vista x64 Edition/Sever 2008 x64 Edition をお使いの場合

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x64\FAX¥（言語名）

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x64¥PS¥（言語名）

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x64¥PCL¥（言語名）

¥Drivers¥Windows¥Printer_Fax¥Drivers¥Win_x64¥XPS¥（言語名）

各言語のプリンター / ファクスドライバーをインストールする場合は、プリンターの追加ウィザードで、お使いになる言語フォルダ内にあるセットアップ情報（*.inf）を参照しインストールするか、インストーラーからインストール設定画面を表示し、インストールするドライバーの言語を指定してください。

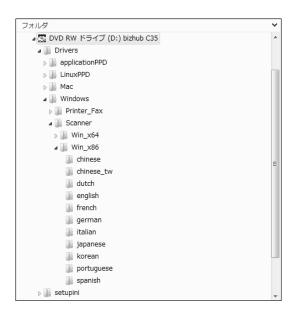
第5章

スキャナードライバー

Windows 7/Vista/Sever 2008/Windows XP/Server 2003/2000 をお使いの場合

¥Drivers¥Windows¥Scanner¥Win_x86¥（言語名）

Windows Server 2008 R2/7 x64 Edition/Vista x64 Edition/Sever 2008 x64 Edition/Windows XP x64 Edition/Server 2003 x64 Edition をお使いの場合

¥Drivers¥Windows¥Scanner¥Win_x64¥（言語名）

各言語のスキャナードライバーをインストールする場合は、スキャナとカメラのインストールウィザードで、お使いになる言語フォルダ内にあるセットアップ情報（*.inf）を参照しインストールするか、インストーラーからインストール設定画面を表示し、インストールするドライバーの言語を指定してください。

マニュアル 6

マニュアル

各種マニュアルをごらんいただけます。

1 Documentation CD-ROM を CD/DVD-ROM ドライブに入れます。

インストールプログラムが自動的に起動し、トップメニュー画面が表示されます。

Windows Server 2008 R2/7/Server 2008/Vista の場合、CD-ROM 挿入時に自動再生ダイアログが表示されるので［AutoRun.exe の実行］をクリックしてください。

インストールプログラムが自動的に起動しない場合は、CD-ROM の中の［AutoRun.exe］アイコンをダブルクリックしてください。

2 参照したいマニュアルを選択します。

- インストレーションガイド
  本機の設置方法やドライバーのインストール方法など、最初の設置や設定についてのマニュアル（本書）です。
- プリンタ／コピー／スキャナユーザーズガイド
  ドライバーの使いかたや消耗品の交換方法、操作パネルの使いかたなど、日常の使いかた全般についてのマニュアルです。
- ファクスユーザーズガイド
  ファクスの送受信方法、操作パネルの使いかたなど、ファクスの使いかた全般についてのマニュアルです。
- リファレンスガイド
  Macintosh/Linux のプリンタードライバーの使いかた、ネットワークの設定など、より詳細な設定についてのマニュアルです。
- クイックガイド
  プリンター、コピー、ファクス、スキャナーの使用手順や消耗品の交換方法が確認できる簡易マニュアルです。

7

プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）

プリンタードライバーの初期設定／オプションの設定（Windows）

本機を使い始める前に、プリンタードライバーの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタードライバーでそのオプションを設定しておいてください。

Windows のプリンタードライバーのインストールについては「ドライバーのインストール」（p.48）をごらんください。
Macintosh のプリンタードライバーのインストールについては「リファレンスガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

以降の説明は､特別な記述がない限り 32bit ドライバーと 64bit ドライバーで共通の情報を含みます。Windows 7、Windows Server 2008、Windows Vista、Windows XP および Windows Server 2003 に関する項目は、同様に Windows Server 2008 R2、Windows 7 x64 Edition、Windows Server 2008 x64 Edition、Windows Vista x64 Edition、Windows XP Professional x64 Edition および Windows Server 2003 x64 Edition にも共通です。

標準ユーザーでプリンタードライバーを使用する場合は、管理者権限で一度ログインし、各タブを開いてください。

1 以下の手順でプリンタードライバーの設定画面を表示します。

– Windows Server 2008 R2/7 の場合

[スタート] メニューから［デバイスとプリンター］をクリックし、デバイスとプリンター画面を表示します。［プリンターと FAX］の［KONICA MINOLTA bizhub C35 PS］、［KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6］または［KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS］プリンターアイコンを右クリックし、［プリンターのプロパティ］をクリックします。

– Windows Server 2008/Vista の場合

［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。［KONICA MINOLTA bizhub C35 PS］、［KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6 ］または［KONICA MINOLTA bizhub C35 XPS］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

– Windows XP Home Edition の場合

［スタート］メニューから［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタと FAX］をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。［KONICA MINOLTA bizhub C35 PS］または［KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

– Windows XP Professional/Server 2003 の場合

［スタート］メニューから「プリンタと FAX」をクリックし、プリンタと FAX 画面を表示します。「KONICA MINOLTA bizhub C35 PS」または「KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6」プリンターアイコンを右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

– Windows 2000 の場合

［スタート］メニューから［設定］－［プリンタ］をクリックし、プリンタ画面を表示します。［KONICA MINOLTA bizhub C35 PS］または［KONICA MINOLTA bizhub C35 PCL6］プリンターアイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックします。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 8 へ進んでください。

3 ［装置情報］タブをクリックします。

4 装着したオプションが正しく認識されているかを確認します。

正しく認識されている場合は、手順 8 に進んでください。
正しく認識されていない場合は、手順 5 に進んでください。

5 ［装置情報取得］をクリックします。装着済みのオプションが自動的に認識されます。

［装置情報取得］は本機との双方向通信が行なわれている場合にのみ使用できます。［装置情報取得］が使用できない場合は、手順 6 を行ってください。Windows Server 2008 R2/7/Vista/Server 2008 をお使いの場合は、USB 接続でも［装置情報取得］が使用できます。

6「装置オプション」リストから、オプションを一つずつ選択して、「設定値の変更」メニューから設定値を選択します。

7 装着しているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8 ［初期設定］タブをクリックします。

9 必要な項目を設定し、［適用］をクリックします。

– メタファイル（EMF）スプールを行う（PCL ドライバーのみ）:
独自のシステムで使用する場合などでメタファイル（EMF）スプールが必要な場合にチェックします。
ただし、［装置情報］タブの［装置オプション］で、［ユーザー認証］および［部門管理］を［なし］にした場合のみ有効になります。

– 禁則発生時に確認メッセージを表示する :
チェックすると、禁則発生時にメッセージを表示します。

– サーバープロパティ用紙を使用する :
チェックすると、サーバープロパティの用紙リストの中から対象プリンターで利用可能なサイズが基本設定タブの原稿サイズリスト／用紙サイズリストに追加されます。

– 不定形サイズの登録（PCL ドライバーのみ）:
不定形サイズを登録すると、登録した名称で基本設定タブの原稿サイズリスト／用紙サイズリストに追加されます。

10「全般」タブをクリックします。

11［印刷設定］をクリックします。
印刷設定画面が表示されます。

12 使用する用紙の種類やサイズなど、本機の初期設定を変更します。

各タブの設定項目については、「プリンタ / コピー / スキャナユーザーズガイド」（Documentation CD-ROM 内の PDF マニュアル）をごらんください。

13 各初期設定を変更したら、［適用］をクリックします。

14［OK］をクリックし、印刷設定画面を閉じます。

15［OK］をクリックし、プリンタードライバーの設定画面を閉じます。